

# 平成28年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果

(県中地方振興局)

(単位:千円)

番号	区分	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金額	事業概要	実施時期	実施場所
1	過疎	継続3	観光振興	磐梯熱海温泉 街づくり推進事業	磐梯熱海温泉観光協会(郡山市)	ソフト	5,700	3,680	<p>(磐梯熱海温泉観光整備事業及び海外へ向けた情報発信の強化)</p> <p>通りにオリジナルの行燈やフラッグ、壁面アートを実施することで、観光客の周遊を促し、街中のにぎわいの創出を図る。また、首都圏の留学生を対象にツアーを開催し、海外へ向けた復興の情報発信を強化し、将来的な海外観光客の誘客を目指す。さらに今年で、萩姫まつりが50周年を迎えることから、記念事業として、京都から500番目の川が磐梯熱海の五百川であるということを検証する。実際に辿りながら検証する中で、沿線の自治体や観光協会、商工会、マスコミ等に福島県や磐梯熱海温泉のPRをし、県外への情報発信を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街中景観事業(灯りの回廊、フラッグ、壁面アート)</li> <li>・誘客事業(留学生インバウンドツアー)</li> <li>・萩姫まつり50周年記念事業</li> </ul>	H28. 4. 1～ H29. 3. 15	郡山市
2	過疎	継続2	観光振興	おもてなし温泉彩	おもてなし温泉彩実行委員会(郡山市)	ソフト	7,698	3,200	<p>(地域資源を活用したおもてなし事業)</p> <p>郡山ブランド認証産品である熱海の梨、磐梯熱海温泉及び音楽を活用したおもてなし事業によって、震災で落ち込んだ地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもてなし「梨」事業 新たな梨料理の開発 熱海グルメ市場&amp;東北復興グルメ市場開催</li> <li>・おもてなし「温泉」事業 郡山地域の仮設住宅に住んでいる避難者向けに温泉解放ウィークを開催 「梨」足湯風呂の開催 美人の湯「着物」スタンプラリー</li> <li>・おもてなし「楽彩」事業 ユラックス熱海及び磐梯熱海駅前において、音楽、ダンス、スポーツ、伝統文化等のイベントを開催 ミニ温泉彩の開催</li> </ul>	H28. 4. 1～ H28. 11. 18	郡山市

# 平成28年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果

(県中地方振興局)

(単位:千円)

番号	区分	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金額	事業概要	実施時期	実施場所
3	過疎	継続2	観光振興	高柴山げんき復活大作戦!	阿武隈高原中部観光連絡協議会(田村市)	ソフト	1,211	423	(ヤマツツジ再生による観光誘客事業) 近年、高柴山のヤマツツジは害虫等の被害により、花芽が減少するなど急激な樹勢の低下が問題となっている。この状況を打開するため、春には地域ボランティア協力のもと、枯れ木の剪定・薬剤散布による整備を行うとともに、秋には高柴山でハイキングイベントを実施し、観光客の誘客を図る。 ・高柴山の整備 ・ふれあいハイキング	H28. 4. 1～ H29. 1. 13	田村市、小野町
4	過疎	継続2	産業振興	「たむら八彩カレー」等のご当地グルメ開発・販売促進事業	田村市ご当地グルメプロジェクト(田村市)	ソフト	750	400	(ご当地グルメを活用した農産物の消費拡大と地域の活性化) 田村市の農産物を使い、市内の生産者や直売所、飲食店などが協力し、開発した「たむら八彩(やさい)カレー」や「ご当地スイーツ 北醇」ののぼりやチラシを作成することで、田村市をPRし、また県内外のイベントに参加することで、知名度をあげ田村市の農産物の消費拡大と風評払拭に取り組む。	H28. 4. 1～ H29. 3. 31	田村市
5	過疎	新規	観光振興	ITを活用した人と地域のつながりを創造する事業(滝根っこITネットワーク)	滝根っこまつり実行委員会(田村市)	ソフト	3,100	1,520	(スマートフォンアプリを活用した観光誘客) 近年、手軽で最も身近となったスマートフォン用アプリを開発し、震災や原発事故以降、傷ついた滝根町の自然や産業、農業などをPRする事で、地域の活性化を図る。将来的には観光だけでなく、農業者等の物販ツールや、災害時の広報ツールとしての活用も検討する。	H28. 4. 1～ H29. 3. 16	田村市

# 平成28年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果

(県中地方振興局)

(単位:千円)

番号	区分	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金額	事業概要	実施時期	実施場所
6	過疎	継続4	教育・文化	ふくしま舞祭	ふくしま舞祭実行委員会(天栄村)	ソフト	3,900	480	(ダンスによる子供の元気づくり、健康づくり) 子供が主役の歌やダンスを主とした音楽イベントを開催し、自然の中で身体を思い切り動かす機会を創出するとともに、参加者同士の地域や世代を超えた交流を通して、子供たちの健全育成に寄与する。 また、舞祭と併せて観光・物産及び地元グルメをPRすることで、地域の魅力発信を行う。さらに、震災語り部や天栄米の取組、メガソーラー発電所の見学会を開く事で、震災後の5年を振り返り、福島 of 安心安全の取組を発信し風評被害の払拭に努める。 ・ふくしま舞祭前夜祭、ふくしま舞祭	H28. 4. 1～ H28. 11. 14	天栄村、郡山市
7	過疎	新規	教育・文化	教育と遊びのイベント「こどもまつり」in三春	こどもまつり実行委員会(三春町)	ソフト	5,000	1,600	(地域資源を活用した三春町の賑わい創出) アフターDCの一環として、さくら遊学舎、アニメスタジオ(3月稼働予定)、まほらホール of 3カ所を活用した周遊イベントを開催する。三春の食材を活用した給食風の食事や、三春のキャラクターを作るワークショップなど、地域の魅力を発信することで、参加者に三春町をPRする。また、街中を含めた3会場を周遊するため、街中の活性化にもつながる。	H28. 4. 1～ H28. 6. 30	三春町
8	過疎	継続2	観光振興	湖南の自然と食資源で交流人口創出事業	ぐるっと湖南・伝承会(郡山市)	ソフト	954	350	(地域の自然と食資源を活用した交流人口創出事業) 湖南町の自然を活用したイベントを開催し地域の魅力をPRし、交流人口の創出を図る。ウォーキング大会は地元の麓山まつりの前日に開催し、祭りへの参加を促し、農家民泊を提供する事で、より一層地元との交流が生まれ、魅力を強くPRできる。親子雪遊び体験では、伝統行事のだんごさしを体験してもらう。 また、湖南町の高齢者の方たちがおもてなし等を実施することで、生きがいを生み出し、生き生きとした街づくりに寄与する。	H28. 7. 1～ H29. 3. 6	郡山市

# 平成28年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果

(県中地方振興局)

(単位:千円)

番号	区分	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金額	事業概要	実施時期	実施場所
9	過疎	新規	教育・文化	民話の里づくり事業	民話の里づくり実行委員会(郡山市)	ソフト	1,506	800	(民話を活用した交流人口の創出と後継者育成) 湖南町では数多くの民話が残っている。その貴重な民話を後世に残し、観光資源として活用することで、交流人口の増加を図り、地域活性化につなげる。また、後世に伝えるために、小中学校で教室を開き、語り部の育成に取り組む。	H28. 5. 1～ H28. 10. 30	郡山市
10	過疎	継続2	産業振興	地域資源「きむコロ」販売促進事業(第4回全国コロッケフェスティバル等への参加)	滝根町商工会女性部(田村市)	ソフト	426	176	(ご当地グルメを活用した風評払拭及び観光PR事業) 滝根町のご当地グルメとして定着しつつあるコロッケ「きむコロ」と昨年新たに開発した「彩コロ」をPRするために、全国規模のイベントをはじめ、各地のイベントに参加することで、滝根町の農産物の安全性や観光のPRを行い、地域産業の活性化を図る。	H28. 5. 1～ H28. 12. 31	田村市
11	過疎	新規	観光振興	ふるさと滝根の“せんだう”さんプロジェクト	滝根町観光協会(田村市)	ソフト	2,272	1,100	(地域間交流による風評払拭と県外ファンの獲得による交流人口の創出) 震災以前から交流があった埼玉県川口市と、震災により途絶えてしまった交流を再開させ、お互いの町で滝根町をPRする「せんだうさん」を増やす。地元のせんだうさんは、地元に関するおもてなしを勉強し、外に発信できるように、また、首都圏のせんだうさんは、滝根の現状を学び、首都圏でPRのお手伝いができるようにすることで、県内外にPRし交流人口の創出を図る。	H28. 5. 1～ H29. 3. 1	田村市

# 平成28年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果

(県中地方振興局)

(単位:千円)

番号	区分	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金額	事業概要	実施時期	実施場所
12	過疎	新規	観光振興	Uniy Cycle プロジェクト	Uniy(田村市)	ソフト	1,200	640	(自転車競技を活用した新たな魅力創出) 人口減少が加速している田村市移地区で、サイクルパークを整備し、新たな魅力としてPRすることで、地域振興を図る。 トラックを整備することで、地域の子どもたちに遊び場を提供するとともに、将来、自転車競技選手を目指すようなきっかけを与える。また、サイクルフェスティバルやイベント、外部講師を招いた講習会などを開催することで、自転車競技に興味のある人を地域内外から集めることができ、交流人口の増加を図る。	H28. 5. 1～ H29. 3. 31	田村市
13	過疎	継続3	産業振興	食ってみっせ！三春グルメンチ推進拡大事業	三春グルメンチ王国(三春町)	ソフト	6,095	3,040	(ご当地グルメを活用した風評払拭及び観光PR事業) 三春町のB級グルメとして浸透してきた「三春グルメンチ」を町外へ向けてのPR活動を強化し、さらなる風評払拭や観光交流人口の増加を目指す。 今年度はPRキャラクター「P作王子」とコンビになるキャラクターを公募し、地元で愛される新キャラクターをつくり、グルメンチのPR強化につなげると共に、全国規模の「あげものサミット」を開催し、全国へ向けた情報発信による風評払拭、観光PRを図る。	H28. 5. 1～ H29. 2. 28	三春町
14	過疎	継続3	教育・文化	やっぺfesta in 小野 ～ふるさとを学ぶ楽しさ知る喜び～	やっぺフェスタ実行委員会(三春町)	ソフト	1,656	754	(地域資源を活用した子どもたちの郷土愛育成と地域活性化) 田村地域の子どもたちに、地域の歴史や伝統文化、郷土料理などを体験してもらうことで、地域の魅力を発見してもらい、郷土愛を育む。 今年度は小野町でイベントを開催することで、小野町の自然や、特産品など学ぶことができ、魅力を知り発信するきっかけを与える。 10/29・30 やっぺfesta in 小野	H28. 5. 9～ H28. 12. 16	小野町

# 平成28年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果

(県中地方振興局)

(単位:千円)

番号	区分	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金額	事業概要	実施時期	実施場所
15	過疎	継続2	観光振興	第2回 お城山まつり サブテーマ まるごと三春のおもてなし	お城山まつり実行委員会(三春町)	ソフト	5,000	2,240	(お城山と地域の歴史を活用した観光誘客事業) 三春城跡である“お城山”公園を活用したイベントを実施する。ふくしまアフターデスティネーションキャンペーン開催期間中に、歴史をテーマにした様々なイベントを開催し観光客の誘客を図る。また、LEDイルミネーションによる一夜城を設置することで新たな観光資源を創出する。 6/4.5 お城山花見大宴会	H28. 5. 1～ H28. 7. 31	三春町
16	過疎	新規	観光振興	街なかかつるし雛まつり	小野町商工会(小野町)	ソフト	630	336	(にぎわいの創出による中心市街地の活性化) 小野町内で地域の方が積極的に活動している文化活動にスポットをあて、街なかでイベントを実施することで、町外からの観光誘客を促進し、中心市街地の活性化を図る。 町内の空き店舗を活用し、つるし雛まつりを開催する。他地域で開催している同趣旨のイベントと連携することで広域的に観光誘客を促進し、11月のマジカルふくしまの期間中も手芸ワークショップを開催し、県外からも誘客を見込む。	H28. 5. 1～ H29. 3. 31	小野町
17	過疎	継続2	人材育成	地域未来プロジェクト	地域未来プロジェクト実行委員会(小野町)	ソフト	3,800	1,920	(地域を担う人材の育成と地域の魅力発信) 小野町の未婚化、晩婚化による少子化に対し、地域全体で独身男女の出会いを応援するための事業を展開し、若い世代を呼び込むことで地域の活性化につなげる。 今年度は、地域内外から定期的集まり、将来や地域に対して話し合い、スキルアップができる場として「未来大学」を設置する。定期的な講座を開催すると共に、地域に関心を持ち定住する意思のある県内外の人の交流を目的とした「大学祭(第4回笑顔コン)」を開催し、交流人口の創出を図り、地域の活性化につなげる。	H28. 5. 1～ H29. 3. 28	小野町

# 平成28年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果

(県中地方振興局)

(単位:千円)

番号	区分	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金額	事業概要	実施時期	実施場所
18	過疎	継続2	交流・定住	まちづくり1200年「物語のあるまちづくり」プロジェクト	まちづくり1200年実行委員会(小野町)	ソフト	1,900	0	(伝承を活用したネットワークづくりと地域のコンテンツづくりによる活性化) 小野町に伝わる「小野篁」や「小野小町」の伝承を活用して、縁のある地域と交流を深め、ネットワークを構築し、交流人口の創出を図る。 また、伝承や小野町を素材にしたコンテンツ制作のためのワークショップ等を実施することで、次世代を担う若者世代にも小野町の地域づくりについて考えてもらい、同世代をターゲットとした情報発信を図る。	H28. 5. 1～ H29. 3. 31	小野町
19	過疎	新規	産業振興	ふくしま地産地消フェア (ふくしま道の駅・空の駅まつり)	ふくしま「道の駅」交流会(玉川村 他)	ソフト	1,650	872	(道の駅を活用した特産品のPRによる地産地消の促進) 県内で生産されている農産物や、それらを加工した6次化商品等の地元産品を集め、広く紹介することで地産地消の取組を進める。 農産物等の販売や観光情報の発信機能を有している県内の道の駅を活用し、展示販売を行うイベントを開催する。来場者へ県内各地の特産品を紹介するとともに、観光PRを行うことで、その土地へ実際に足を運ぶきっかけを作る。 11/12  ふくしま地産地消フェア 開催 会場:福島空港国際貨物施設周辺	H28. 10. 1～ H29. 1. 31	玉川村 (福島空港)
計							54,448	23,531			